



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：第1回 GCC・トルコ外相会合

(9月3日付現地各紙)

3日付現地各紙は、2日、ジッダで開催された第108回 GCC 外相会合のマージンで第1回 GCC・トルコ外相会合が開催され、戦略的対話に対する覚書が締結されたと報じている。概要以下の通り。

1. 2日、ジッダにおいて第1回 GCC・トルコ外相会合が開催され、GCC 各国外相、ババジャン・トルコ外相及びアティーヤ GCC 事務局長が出席した。
2. 同会合の締めくくりに際し、現 GCC 議長国のハマド・カタール首相兼外相とババジャン・トルコ外相は、GCC・トルコ間の建設的な関係構築を目的とする戦略的対話に関する覚書に署名した。
3. ハマド・カタール首相兼外相は、同会合は、GCC 諸国と友邦国トルコの関係の深さを反映するものであり、共通の関心を有する地域・国際情勢について意見交換・調整を行い、戦略的関係強化のための対話のために行われたと述べた。

4. ババジャン・トルコ外相発言

GCC 諸国との間のハイレベルの要人往来、成長し続けている経済関係、2002年以來現在までに4倍に拡大した貿易額等は、協力関係の目にみえる成果に数えられる。近い将来、自由貿易協定の批准に向けた協議の継続を通じて、引き続き関係を強化していきたい。

5. アティーヤ GCC 事務局長発言

今回の会合開催は、各国及び各国国民の利益のため、両者間に共通する対話の重要性の認識に基づくものである。治安、経済、文化的側面は両者の関係を活性化させ、促進するための基本点である。GCC とトルコは、年1回、トルコ及び GCC 議長国が議長として外相級定例会合を開催することで合意した。